

みやけの風

第 87 号

平成14年(2002年)7月20日(土)発行
 発行：三宅島災害・東京ボランティア支援センター
 発行責任者：上原 泰男
 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ*10階
 東京ボランティア・市民活動センター気付
 TEL:03-3260-7573 FAX:03-5229-1646
 E-mail:tokyocenter@cmppo.org

「たて続けに2回も台風が来たもの。たまげたなあ」「だからよ」「今年は、天気はどうにかなっちゃったんじゃないかねえかし」「それにしてもよ～、13日の三高野球部の試合は惜しかったな」「一回に5点やられたんが大きかったな。でも、よく2点とったっけよ」「何でも、8月8日の甲子園じゃ開会式で主将の春坊が先導役つとめるだっちょ」「まさかよ」「ほんとだってば」「いえ、そんじゃ神着は騒ぎだな」「島中あげてお祝いだじよ」「だから」

みんなの声

大正ロマン、SLに乗って

品川開業130周年記念行事で私達6人は港区の皆様と一緒にSLに乗せていただきました。木の柵、赤いピロートシートの椅子、大正ロマン風客車、品川駅の車両基地2kmを時速5kmで、灰色の煙を上げて大きな汽笛を鳴らし往復しました。

1946年シゴナナ(C5780)蒸気機関車が誕生、雨の日も雪の日もがんばって、地球42周442万人の人達を運び、1969年引退、新津第1小学校に保存されていました。それから30年、JR東日本大宮工場で整備されて、1999年試験走行、「SLばんえつ物語号」として復活し、今は磐越西線新潟から会津若松を走っているそうです。

千葉から来た小学2年生の孫は、おもちゃ箱をひっくり返して見つけたSLのおもちゃを大事そうに抱えてきました。SLといっても小学5年生の女の子にとっては、電車と汽車の区別はつきません。

ばあばあは小学1年生の時、近くの東海道線の函南駅へ初めて蒸気機関車を見学に行き、煙を吐いて汽笛をならし、いくつもの客車をひっぱって走るのを見て、すごい力だなあと思ったこと、六年生の修学旅行で東京まで行った時、そのころは冷房が

ないので窓を開けて風に吹かれていて、「トンネルだ、早く窓を閉めなさい」の先生の声で急いで窓を閉めるのですが、トンネルがいくつもあるのうっかりしていると、石炭のにおい、煙で前が見えない、顔がすすで黒くなったこと、じいじいは戦争中、学童疎開で伊東に来ていた時、線路に耳を当てて遊んでいて、大きな汽笛をならして蒸気機関車が近づいてくると、びっくりしてタルの中に急いでかくれたことなど話して聞かせました。

その後、品川駅の駅長さんと写真をとっていただき、一日孫と一緒に楽しい思い出ができました。お世話下さった皆様、ありがとうございました。

(目黒区 山本 喜美代)

島節 CD化

火山ガスの発生により、帰島の目途のたたぬ避難中の三宅島民の皆さんに、島をなつかしみ、希望と元気を持っていただけたら、また、全国の皆さんに島節を通して三宅島を知っていただこうと、この度、神着郷土芸能保存会長 浅沼秀一氏の唄を元唄にして、それをコロムビア所属のプロ歌手が唄い、社団法人日本フォークダンス連盟監修によるCDが出来ました。

(港区 保存会 津村 晋)

このCDについては、裏面に情報あります

本日、7月20日(土)は海の日です。

三宅島支援東京センターはお休みをいただいています

このCDは、『ふる里の民謡 第42集』5枚組みの中の1枚で、全国のCD屋さんで発売されています。また、日本フォークダンス連盟でも扱っています。

お問合せ先：社団法人日本フォークダンス連盟 TEL：03-3469-8706

ふる里の民謡 第42集 島節 価格：1,050円 問い合わせ番号：COSF-15426

ご招待 3連発!

三宅島の皆さん、頑張ってください! チャリティーコンサート

足立区が生んだシンガーソングライター安藤秀樹さんのチャリティーコンサートが開催されます。「三宅島の復旧はもちろんですが、長引く避難生活に対し、少しでもお役に立ちたいと思っています。収益金は義援金募金に全額寄付させていただきます」とのこと。

日時：2002年7月26日(金)

開場：PM 6:30 開演：PM 7:00

入場料：**2,500円のところ三宅島島民は無料ご招待**(前もって下記まで申し込みください)

会場：西新井文化ホールギャラクシティ

足立区栗原1-3-1 TEL: 03-5242-8161(東武・日比谷線 西新井駅東口徒歩3分)

主催：足立三宅会を支援する会・NPO足立フォーラム21

後援：足立区・足立区教育委員会・足立区社会福祉協議会

お申し込み：03-3881-6217(チャリティーコンサート事務局)

三宅島支援“親子防災デイキャンプ”開催

ミニサバイバルウォークが午前9時(ゴールまで約1時間)金沢文庫駅前からスタート。防災競技、炊き出し、応急手当訓練、防災サバイバルクイズなど盛りだくさんの企画がずらり。体育館では、三宅島災害パネル展を実施。

日時：平成14年8月4日(日) 午前10時～午後3時

場所：関東学院大学金沢文庫(釜利谷)キャンパス

(京浜急行金沢文庫より、

バス野村住宅センター行きまたはパークタウン西行き終点下車徒歩3分)

問い合わせ：TEL 045-844-2885 申し込み：FAX 045-844-2894

主催：都市防災研究所 協力：三宅島社会福祉協議会

日本空手道常心門少林流 第33回全国選手権大会～心胎融合～へのご招待

「苦しみも、頑張ろうという気持ちになった時に希望へと変わる」是非三宅島の方々に、古流現代の空手を見ていただき、少しでも勇気と力がつけば幸いです。

当日、受付にて村民手帳など島民であることを証明する物をお見せください。係りの者が、席までご案内いたします。後日、全国から集まった先生や選手達の気持ちを三宅村の義援金募金へ寄付させていただきます。子ども達からお年寄りまで、一人でも多くの方のご来場をお待ちしております。

日時：2001年8月11日(日)

試合開始10:00 式典13:00 演武14:00(少年少女・女子・古武道)

会場：新宿スポーツセンター(大体育館)3F

(JR・西武新宿線 高田馬場駅より徒歩10分、JR新大久保駅より徒歩15分)

問合せ先：常心門空手道東京都連盟 本部長 今里 幸人

TEL：03-3388-1291 FAX：03-3388-9861